

令和3年（1～12月）における火災の状況（確定値）

令和3年中の火災の状況について、1月から12月までの確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

前年と比較すると、総出火件数、火災による死者数ともに増加しています。

① 総出火件数は35,222件、前年より531件の増加

総出火件数は、35,222件で、前年より531件増加(+1.5%)しています。火災種別で見ますと、建物火災が184件増加、林野火災が12件減少、車両火災が46件増加、船舶火災が15件減少、航空機火災が増減なし、その他火災が328件増加しています。

② 総死者数は1,417人、前年より91人の増加

火災による総死者数は、1,417人で、前年より91人増加(+6.9%)しています。負傷者数は、5,433人で、前年より150人減少(-2.7%)しています。

③ 住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は966人、前年より67人の増加

住宅火災による総死者（放火自殺者等を除く。）数は966人で、前年より67人増加(+7.5%)しています。このうち65歳以上の高齢者は716人で、前年より71人増加(+11.0%)し、住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数の74.1%を占めています。

④ 出火原因の第1位は「たばこ」、第2位は「たき火」です。

総出火件数の35,222件を出火原因別にみると、「たばこ」3,042件(8.6%)、「たき火」2,764件(7.8%)、「こんろ」2,678件(7.6%)、「放火」2,333件(6.6%)、「電気機器」1,816件(5.2%)の順となっています。また、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると3,888件(11.0%)となっています。

詳細は消防庁ホームページをご覧ください。(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/statistics/>)

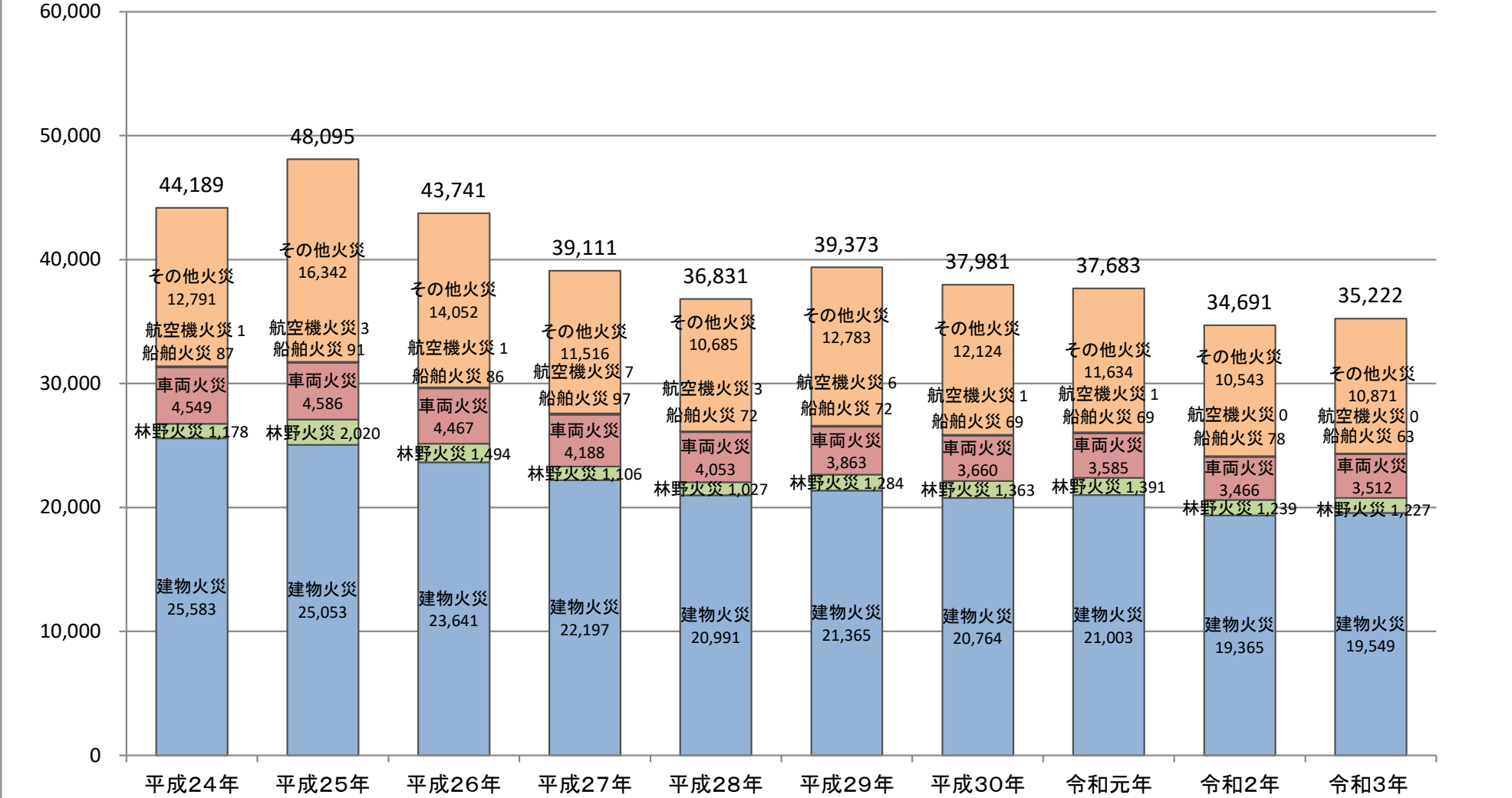


消太

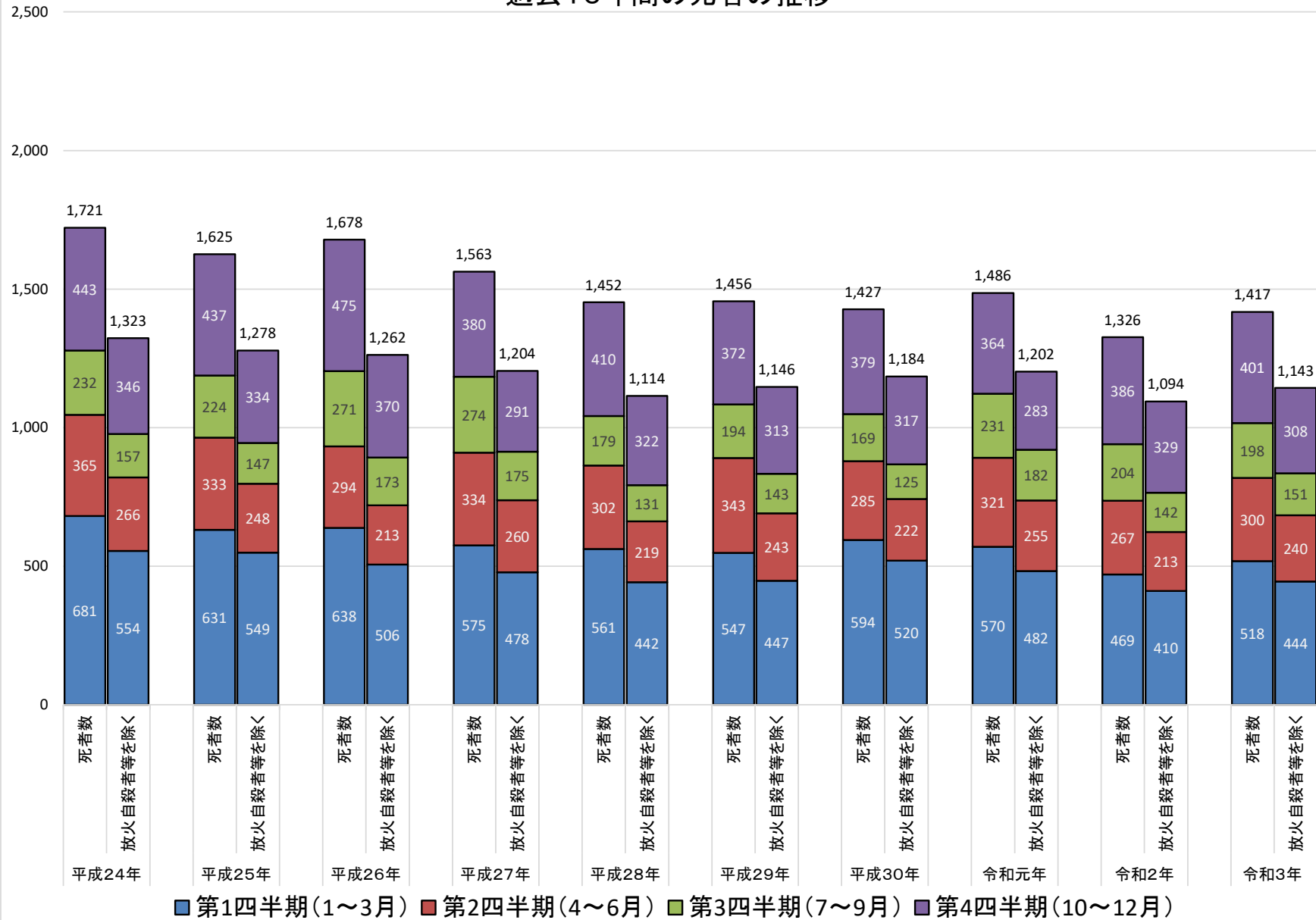
【担当】

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室 守谷 安達 山口
予防課 濱田 佐藤 菅野
(代表) TEL 03-5253-5111/FAX 03-5253-7536

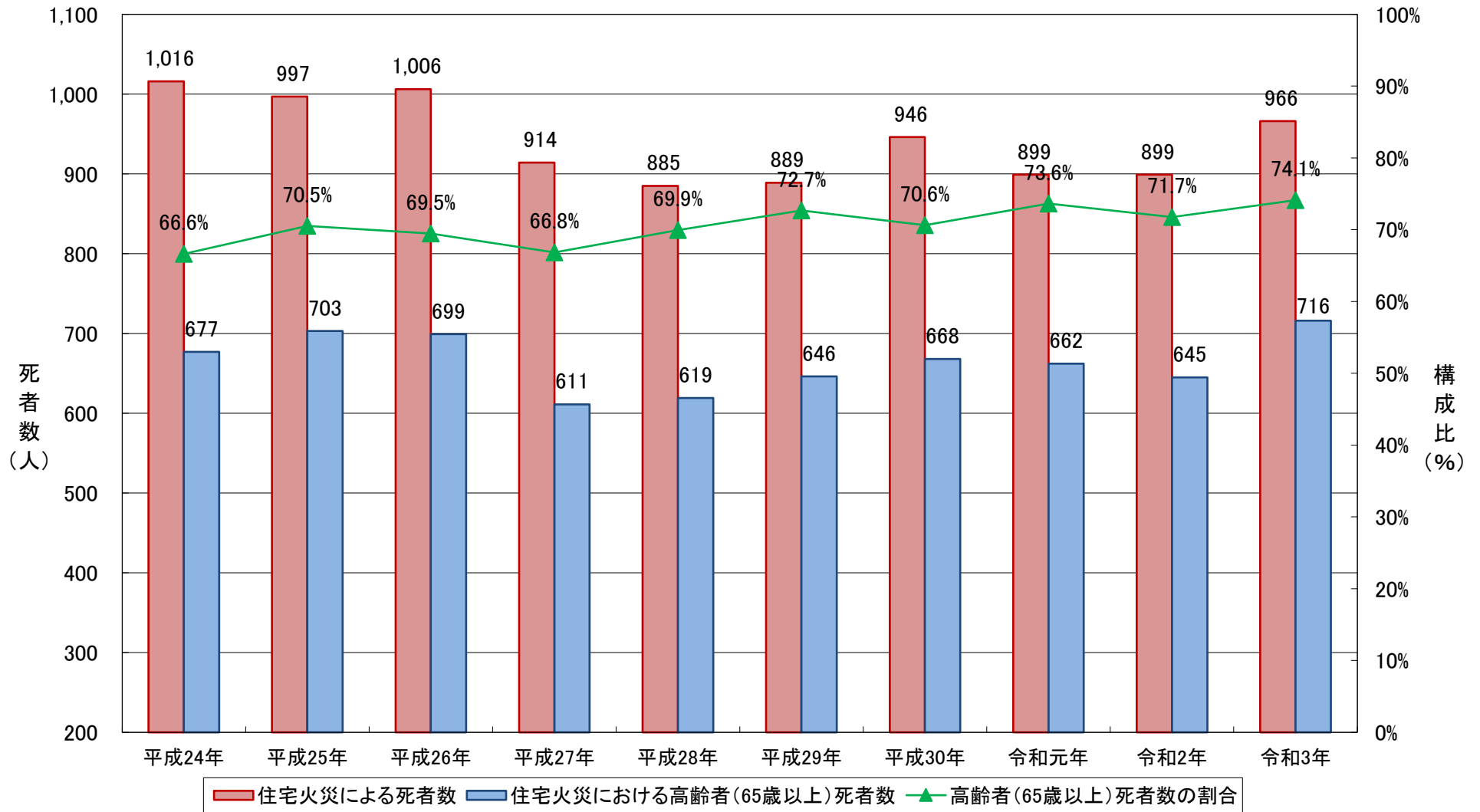
過去10年間の火災の推移



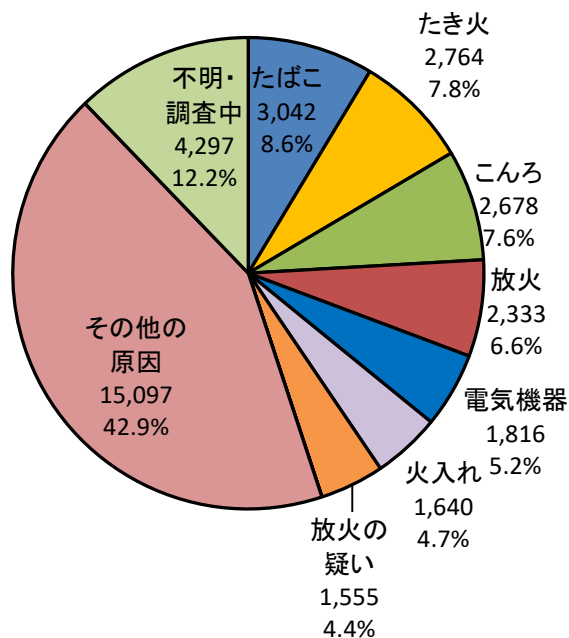
過去10年間の死者の推移



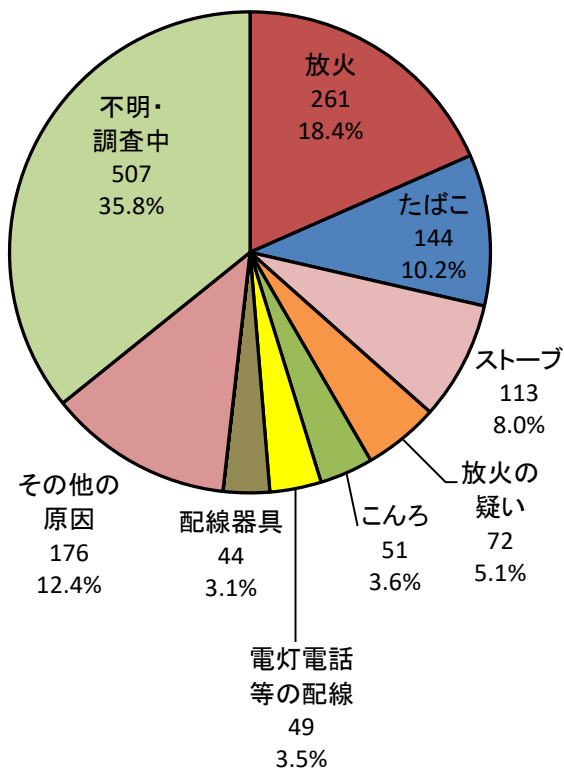
住宅火災における死者数の推移(放火自殺者等を除く。)



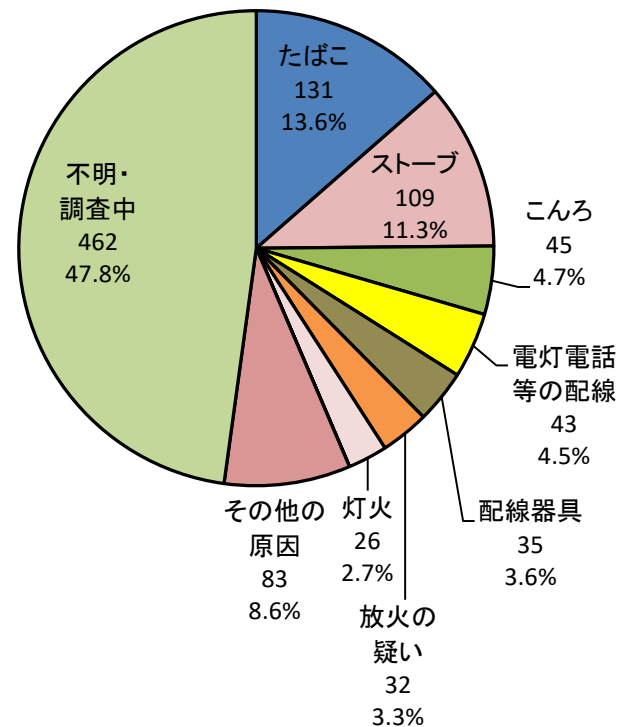
出火原因
全火災35,222件の内訳



全火災の出火原因別死者
1,417人の内訳



住宅火災の出火原因別死者数
(放火自殺者等を除く。)
966人の内訳



令和3年(1~12月)における火災の状況(確定値)